

## 《第57回日本透析医学会に参加して ～パート1～ 》

臨床工学技士 石河和浩

第57回日本透析医学会学術集会・総会が6/22(金)～24(日)の3日間、北海道札幌市(京王プラザホテル・ロイトン札幌・さっぽろ芸術文化の館・札幌プリンスホテル国際館パミール・札幌市教育文化会館)の5会場で開催されました。今回、当院からは看護師2名、臨床工学技士2名の合計4名で参加しました(1演題ポスター発表)。口演内容は、看護・合併症・透析膜・透析装置など透析に関連する幅広いもので、口演が約1600、ポスター演題が約1800もある、とても大きな学会で参加者数は12,701名でした。

参加する職種は様々で、透析療法に従事している医師、看護師、臨床工学技士のみならず、薬剤師、管理栄養士、医療ソーシャルワーカー等多職種にわたり、各専門分野での活発な発表、意見交換が行われました。学術集会が開催される前と終了後にもモーニングセミナー・イブニングセミナーが開催されており、朝から晩まで透析についてみっちり!!学ぶことが出来ました。イブニングセミナーの後は、北海道グルメレポート!で、北海道グルメの定番!!海鮮丼・みそラーメンを頂きに夜の街に繰り出し美味しく頂いてきました。

また、学会会場内には透析治療に関連する医療機器・機材の展示があり、普段目にするのでできない最新の機器・器材を見聞できる場でありました。

今後も学会・勉強会へ積極的に参加し、得られた知識を基に患者さんへより良い治療を提供できるように努めていきたいと思えます。



《第57回日本透析医学会に参加して ～パート2～ 》

今回、『RENAK の生体適合性、高分子除去能、HMGB1-RAGE 系に及ぼす影響についての検討』について発表いたしました。透析患者さんでは動脈硬化・石灰化が心血管合併症に関与しています。透析治療に使用されている透析器(ダイアライザ)には数多くの素材が使用されており、その生体適合性(血液との適合性)や除去性能(毒素の除去能)、また動脈硬化に関与している HMGB1-RAGE 系に着目しました。

透析患者さんは慢性疾患であり、また反復治療をしているため合併症予防がとても重要になります。臨床工学技士として、透析患者さんのために様々な角度から合併症予防に繋がる医療が提供できるように、これからも継続した研究(評価)をして参りたいと思います。

今回の学会では、発表と座長を務めさせて頂きましたが、とても貴重な経験をさせて頂きました。研究をするにあたり、明確な研究目的を持って取り組むこと、また患者さんや医療スタッフに繋がるのが大切であることを改めて感じました。当院の理念でもある『医学的に正しい医療、心あたたまる医療、地域への貢献』を基に今後も研鑽していきたいと思っております。

臨床工学技士 大塚 紹

